

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成28年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立愛宕山少年自然の家	所管課	福祉保健部 子育て支援課
所在地	甲府市愛宕町358-1	設置年月日 (改築年月日等)	昭和48年8月9日
指定管理者	公益財団法人山梨県青少年協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年自然の家設置及び管理条例		
設置目的	恵まれた自然の中で少年の豊かな情操を養うとともに、集団宿泊生活を通して自立、協同、友愛及び奉仕の尊さを体験的に学習させ心身ともにたくましい少年を育成するため、少年自然の家を設置する。 ※山梨県教育委員会からの管理運営事務の委任年月日 昭和48年8月1日		
主な施設内容 (定員等)	○建物面積 2,663㎡ ○建物の構造 鉄筋コンクリート造、地上4階建て ○施設の内容 ・1階 大ホール 144㎡ ・2階 工作室 78㎡、第一研修室 74㎡、第二研修室 67㎡、 展示ロビー 73㎡ ・3階 食堂 156㎡、浴室 ・4階 談話室、宿泊室 23㎡(15部屋、各10名定員、計150名) 事務室 96㎡		
主な業務内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 (4)野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 (5)体育、レクリエーション及び野外活動に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	(1)山梨県立八ヶ岳少年自然の家:定員210人 (2)山梨県立ゆずりはら青少年自然の里:定員100人
------------------------------	---

3 利用状況

単位：人、%

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (目標値)
利用者数	施設利用者数	18,123	17,372	17,700	
	事業参加者数	942	856	788	
	利用者数合計	19,065	18,228	18,488	
	目標値	19,467	19,856	20,254	20,659
	目標値設定の考え方及びその理由	平成24年度の実績7%増を平成25年度の目標値と再設定し、その2%増を目標値と設定している。	平成26年度目標値の2%増を目標値と設定している。	平成27年度目標値の2%増を目標値と設定している。	平成28年度目標値の2%増を目標値と設定している。
	対26年度比		95.6%	97.0%	
利用率	38.9%	36.0%	40.9%		

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成27年度	平成28年度 (計画値)	平成28年度 (実績値)	平成29年度 (計画値)
収入	施設利用料	2,350,630	2,711,000	2,331,830	2,741,000
	指定管理者委託料	62,257,000	62,821,000	62,821,000	60,157,000
	その他	421,379	291,000	373,465	194,000
	収入合計(A)	65,029,009	65,823,000	65,526,295	63,092,000
支出	人件費	32,406,434	34,300,000	31,504,477	31,815,000
	県への納付金				
	管理運営費	29,708,673	31,523,000	27,390,209	31,277,000
	うち外部委託費(B)	6,888,457	7,163,000	7,990,587	7,250,000
	支出合計(C)	62,115,107	65,823,000	58,894,686	63,092,000
収支差額(A-C)		2,913,902		6,631,609	
外部委託比率(B÷C)		11.1%	10.9%	13.6%	11.5%
利用者一人当たりの経費		3,415.5	3,101.7	3,397.9	2,911.9

5 利用者満足度

実施方法等	【調査項目①②④⑤】 実施時期:平成28年4月～平成29年3月 実施方法:利用者へのアンケート 回答数:209人
	【調査項目③】 実施時期:平成28年4月～平成29年3月事業実施時 実施方法:事業参加者へのアンケート 回答数:219人

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設・設備の状況	69.9%	27.7%	1.9%	0.5%
②職員の対応(受付・接客)	86.7%	12.3%	1.0%	
③事業内容	78.0%	21.0%	0.5%	0.5%
④食堂の内容	78.3%	19.1%	1.8%	0.8%
⑤施設全般の満足度	82.9%	17.1%		

利用者の意見	①全体的に老朽化が目立った。 ②トイレの臭いが食堂まで届くほどで気になった。 ③女子浴室のシャワーが水量・温度ともに不十分だった。 ④食堂の栄養士さんの食事の説明がよく、味も最高だった。 ⑤食事が値段の割に少なくバリエーションもなかった。
利用者の意見への対応	①利用者にとって快適な施設であるように、適宜点検や修繕を行っていく。 ②水洗設備や換気扇の修繕を行い現在は復旧している。 ③業者による管の清掃を実施し現在は復旧している。 ④今後とも良い評価を頂けるよう食堂業者とともに努力していく。 ⑤食事メニューについては検討会を実施し、より満足いただけるよう工夫していく。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	定期的に巡回・点検を行うことにより、施設内の安全及び適正管理に努めている。	計画どおり適正に業務執行されている。
運営業務	安全に、楽しく利用できるよう、事前打ち合わせを適切に行い、必要な指導・援助を行った。	計画どおり適正に業務執行されている。
利用状況	平成27年度に比べ、260人の増となった。 利用団体数は25団体増えているが、利用者数はそれほど伸びていないことから、利用団体が小規模化していることがうかがえる。 利用者数の確保と稼働率を上げるため、効率的な利用の受入を行っていく。	引き続き利用者ニーズを適切に把握し、それに合致した事業展開を図るとともに、新規利用者確保のために広報活動を強化すること。
収支状況	全体として予定どおり執行できた。	燃料費、消耗品など支出の削減に努めており、予算も適切に執行されている。
自主事業	多くの育成団体、ボランティアの協力を得て事業を実施することができた。	各事業ともおおむね募集人員に近い参加者があるが、周知が不十分となりがちな新規事業について広報等を積極的に行い、参加者の増加に努めること。 また、引き続き利用者ニーズなどを適切に把握し、それに合致した事業展開を図ること。
利用者満足度	対応やサービス面など高い満足度が得られているが、今後は、食事の内容などについて職員と食堂運業者とで検討を行い、更なるサービスの向上に努めていく。	施設設備の満足度は他の項目よりも低くなっている。 設置から44年が経過し老朽化が進んでいることからやむを得ない面があるが、更なる環境整備に努め利用者満足度の向上を図ること。 その他の項目については概ね高い評価を得ており、引き続き利用者の満足度向上に向けた取り組みに努めること。
運営目標の達成状況	利用者数、事業参加者数ともに目標は達成できていないが、平成27年度より260人の増となっている。 定員を超える申込みのある事業がある反面、参加者が少ない事業も見られることから、参加者の少ない事業については、内容や実施方法の見直しが必要である。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設については、業務計画書等に基づき適切に管理されている。 引き続き利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努めるとともに、利用者の増加に向け魅力ある施設となるよう工夫を行うこと。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	○利用者へのアンケート調査や実施事業への参加率などを参考に、事業内容等の見直しを行っている。 ○利用者の増加に向けて、県外でも施設の広報活動を行っている。 ○利用者の満足度向上のため、業務計画書に沿って適正な施設運営に努めている。	

7 管理体制(組織図)

平成28年4月1日現在



所長	1 人
課長	1 人
一般職員	4 人
契約職員	5 人
合計	11 人